

嶋満神社便り

平成三十年七月号(第二十六号)
発行 嶋満神社奉賛会

北陸道の総鎮守「氣比神宮」

福井県は敦賀市に鎮座する「氣比神宮」(ケヒシングウ)へお参りしてきました。

大宝二年(西暦702)建立、主祭神は「イザサワケノミコト」であり、「御食津大神」(ミケツオオカミ)とも称し、食べ物の神様、現在は衣食住全般や海上交通の安全にご利益ありと、敦賀市発行の案内書に記載されています。



日本三大木造大鳥居の一つ 氣比神宮の大鳥居

ではなぜ今ここで敦賀の神様か？

ここには境内摂社として敦賀の地名の語源となった「都怒我阿羅斯等命」(ツヌガアラシトノミコト)を祀る角鹿神社(ツヌガジンジャ)があります。

本誌第十六号や十八号で紹介したように嶋満神社の祭神、応神天皇(ホムタワケノミコト)は氣比の大神とその名前を交換しています。このことは大和朝廷の支配体制にとって大きな出来事だと言う説があります。当時その地に半島から来て垂仁天皇に仕えていた朝鮮の王子の名が「ツヌガアラシト」でしたね。つまり応神の国造りに朝鮮半島の人脈や技術が深く関わっていた、その中心地が日本海側、敦賀の

地であった、ということが強くうかがえるということとその号の記事のバックボーンの一つでした。つまり敦賀の地と我が嶋満神社とは結構深い関係にある・・・？

いささかこじつけが過ぎましたかな？

でもそんな事を思いながら訪ねると、この北陸の地にも何となく親近感がわいて来ます。



角鹿神社(ツヌガジンジャ)

さて第十八号ではその「ツヌガアラシト」をモデルに敦賀市がゆるキャラ「ツヌガ君」を作られたことも紹介しました。この「ツヌガ君」意外と身近なところにいるんですよ。知ってる人は知っています・・・。

そう、JR小浜線のポディーにドゥーンと描かれているのですよ。

ラッピング車輛というやつですね。

ここには嶺南地域六市町六体のゆるキャラが描かれていますので、見比べてみて下さい。楽しいですよ。

この車輛、平成三十年の夏までということですので、まだ見ていない方はお早めに！



JR小浜線のラッピング車輛

夏の例祭間近

恒例の夏の例祭が近づいてまいりました。詳細は浮島会様の予定が決まり次第お知らせいたしますので、会員様には是非とも式典へのご参加をよろしくお願いいたします。